

災害時に役立つ手話を学ぶ参加者  
＝豊橋市東新町のさくらピアで



## 災害時役立つ手話学ぶ

### 豊橋 防災教室で親子連れ

災害時に役立つ手話を学ぶ教室が十七日、豊橋市東

新町の市障害者福祉会館さくらピアで開かれた。市内の親子連れ十八人が参加し、災害に関連する単語の表し方を手を動かしながら覚えていった。

避難所では障害のある人となない人が生活を共にすることになるため、さくらピアが二〇一六年からさまざまな障害をテーマに開いている。今年は豊橋手話ネット

トワークのメンバーが講師を務めた。

メンバーは単語カードをめぐりながら、対応する手話を実演。「地震」は、両手のひらを上に向けて同時に前後へ動かすことで表現し、「手を動かす勢いを変えると、揺れの強さを表現できる」と話した。マスクや手洗いなど、新型コロナウイルス関連の単語も紹介していた。

(酒井博章)